

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年11月26日（木）

2 確認箇所

H9及びH9西タンクエリア

3 確認項目

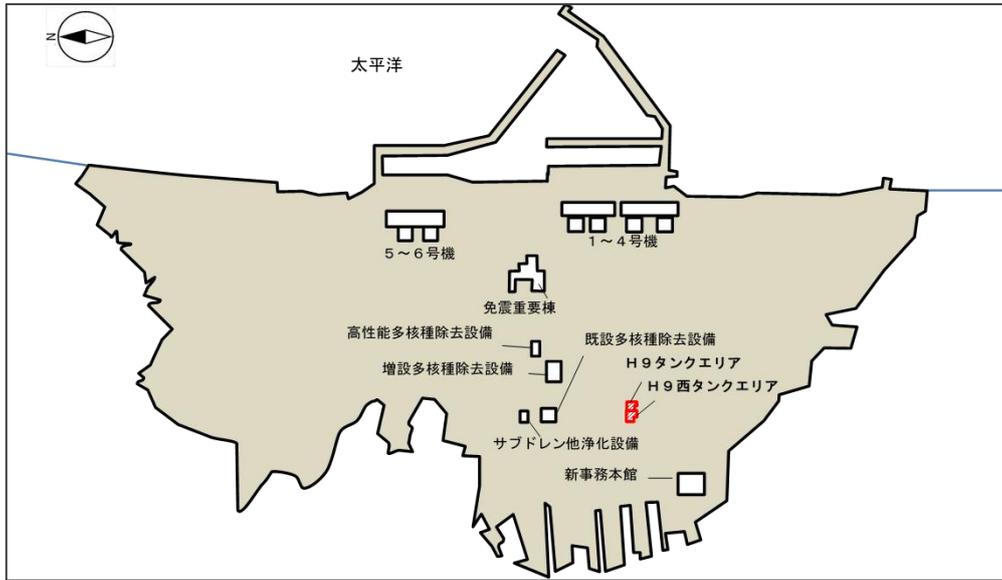
H9及びH9西タンクエリアのフランジ型タンクの解体状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、タンクからの漏えいリスク低減を図るため、ボルト締めフランジ型タンクから溶接型タンクへの置き換えを順次進めている。今回、H9及びH9西タンクエリアにおいて、フランジ型タンクの解体作業が予定されていることから状況を確認した。（図1、写真1）

なお、前回の現場確認（令和2年9月28日確認）では、タンクからの残水移送等の作業が進められていた。

- ・現場確認時、残水移送等の作業は終了しており、タンクの解体作業が開始されていた。H9タンクエリアではタンク全5基のうち1基の解体が完了し、2基目の解体作業が進行中であった。（写真2）
- ・次に解体予定の3基目のタンクについては、作業足場となる歩廊が取り付けられ、タンク上部においてボルトの間引き作業が行われていた。（写真3）
- ・また、H9西タンクエリアについては、堰内への雨水浸入を低減するために設けられた堰カバーの撤去が完了しており、その作業足場の除去作業が行われていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
H9タンクエリアの外観
(北東側から撮影)



(写真2-1)
2基目のタンクの解体状況



(写真2-2)
解体片はクレーンでつり上げて搬出



(写真3) タンク上部のボルト間引き作業の状況



(写真4-1)
H9西タンクエリア(北西側)
(令和2年9月28日撮影)

(写真4-2)
同左
(令和2年11月26日撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。